

(総務委員会)

新しい下呂温泉の魅力を創出すべく、下記について実施したい。

- 1．協会事業全体に対する総合的な企画及び調整
- 2．国、県の事業参加を通じて効果的な下呂温泉の発信と情報の収集
- 3．観光圏の形成を目指して周辺地域との連携
- 4．濃飛横断自動車道及び中央自動車道のアクセス道路整備促進の諸活動
- 5．岐阜県空港の早期実現の運動
- 6．南飛驒国際健康保養地との連携強化
- 7．下呂温泉のランドマーク的な外湯建設などの推進
- 8．飛驒・美濃じまんキャンペーンとの連携
- 9．リニアエクスプレス中央新幹線の早期実現の陳情
- 10．健康保養地づくりの促進
- 11．南飛驒総合健康アリーナ建設の促進と活用
- 12．高山本線強化促進
- 13．下呂市並びに旅館組合等関係団体との連携の強化
- 14．県及び近隣観光協会及び商工会など関係団体との連携の強化
- 15．日本三名泉有馬・草津と韓国儒城との交流、情報交換
- 16．下呂温泉まつりの共催
- 17．市及び市議会との観光振興会議などの開催
- 18．芸妓芸能の育成
- 19．地元教育機関との交流
- 20．防犯活動の推進
- 21．観光関係功労者、優良従業員の表彰
- 22．下呂温泉観光協会だよりの発行

(誘致宣伝委員会)

昨年のDCに引き続き、岐阜県およびJR東海の誘客事業が計画される中これと呼応するとともに地域間競争が激化すると予想されるなか、本年度は「東海北陸自動車道の全線開通」を誘客のチャンスと捉え、北陸地区、遠州・三河地区、名古屋市の3エリアを重要市場地区と定め、広告宣伝並びに各種イベントを効果的に展開して行きたい。

また、政府のVJCを受けて、下呂市台湾連絡事務所の効果的活用など、インバウンド事業についても昨年度にも増して積極的に事業展開をしたい。

1. 東海北陸自動車道の全線開通に伴いドライブ旅行の誘客対策
2. JR高山本線利用促進の事業の実施
3. 飛騨美濃じまんキャンペーンとの連携
4. 国・県・県観光連盟および関係団体が実施する観光展、PRイベント等への協力
5. 旅行者並びにマスコミ各社へキャラバン隊の実施（下呂市および旅館組合と共同）
6. 国内外での誘致会及び観光展等の実施
7. 宣伝用印刷物・販促物の作成
8. マスメディアに対する広告出稿
9. インターネットの活用（旅館組合の下呂温泉Webページへの協力）
10. インバウンド事業の誘致促進（下呂市台湾連絡事務所の活用と誘客対策）
11. 各種大会・全国大会等の誘致活動及び協力
12. 下呂温泉ふるさと観光大使に掛かる事業
13. 広域観光(観光圏)の形成に掛かる事業

(まちづくり委員会)

新しい時代の温泉地として、街並整備・名所作りは重要な要素の一つです。行政・区・各種団体等の連携を図り下記の事業を実施し、温泉地としての「魅力あるまちづくり」について推進して行きたい。

1. まちづくりへの提言
2. 飛騨川クリーン大作戦の実施
3. 花木の植栽と定期的な管理
4. 里山の紅葉樹作戦と名所作りの推進
5. 飛騨街道の再生事業への推進

(交流研修委員会)

観光客のニーズが多様化するなか、下呂温泉の活性化を図るために、観光客のトレンドを的確に把握しなければならない。高山線強化促進という重要な目的も併せ持つ「車上セミナー」を実施したい。また、韓国儒城温泉との交流事業について関係機関と連携を図りながら実施したい。

- 1．協会員の研修及び高山本線強化促進を目的に車上セミナーを開催する
- 2．観光講座等への、会員の積極的参加の推進
- 3．接客サービス研修会の開催
- 4．韓国儒城温泉との交流事業の実施

(おもてなし委員会)

当地を訪れる方々への感謝と旅の思い出づくりのお手伝いとして、温泉街にて下記の事業を実施したい。また、商工会との連携を図り各種イベントなどの協力を進める。
ＪＲ東海主催の「さわやかウォーキング」への協力もして行きたい。

- 1．下呂温泉いでゆ夜の企画、運営
(7月19日・26日・8月 9日・16日・23日 開催)
- 2．歌塚供養祭・歌塚歌謡祭の企画、運営
(8月 9日 開催予定)
- 3．キャンドルイルミネーションの実施
(12月24日 開催予定)
- 4．ウォーキング大会等、各種アウトドアイベントへの参加協力
- 5．温泉街(市内)における各種イベントの実施

(青年部)

- 事業方針 -

好業績を続ける大企業とは裏腹に、所得格差の問題、高齢化問題、原油や資源の高騰による価格転嫁が進み、中小企業の仕入れ価格の上昇に伴う業績悪化や家計の逼迫により、立ち直りの兆しを見せた日本経済も再び陰りが懸念されます。また、私たち地域を取り巻く環境も依然として厳しい状態にあります。

観光は、地域経済にとって波及効果の大きな総合産業です。私たち青年部員は地域の魅力や個々の事業所の魅力をお客様に感じていただけるよう、今どうすればよいのか考え、行動することで下呂温泉を盛り上げていきましょう。個々の業種、規模、立地に関わらず同じ時代に頑張る仲間として、大いに情報交換をし、語り合い、互いに啓発しあうことで地域や個々の魅力作りの一助となるよう連携していきましょう。また私たちは、先人が築き上げた日本三名泉の下呂温泉という恵まれた環境にあります。先人たちの努力に感謝して、この環境に甘んじることなく、地域経済を担う一員としての自覚を持ち、青年部活動に取り組んでいきましょう。

- 事業計画 -

1. (社)下呂温泉観光協会の諸事業への協力
2. 下呂温泉への誘客キャラバンの実施(下呂温泉旅館協同組合青年部との協力事業)
3. 温泉と健康に関する調査研究
4. 下呂温泉の街並み整備に関する調査研究
 - ・ 緑、紅葉や花木に植栽
5. 「TOG会議」等、諸団体との連携
 - ・ 「花火ミュージカル冬公演」への参画
6. 「130万人誘致客対策」について新たな観光資源の発掘・研究・提案
7. 部員拡大

「TOG会議」

下記の5つの青年団体が集まり、様々な観点と立場から街作りを考え行動している団体です。

- (社)下呂青年会議所、下呂商工会青年部、下呂温泉旅館協同組合青年部
- (社)飛驒法人会下呂支部青年部会、(社)下呂温泉観光協会青年部